

読影環境 (図 1)



3T MRI

広島市立広島市民病院

〒730-8518

広島県広島市中区基町7番33号

電話番号: 082-221-2291(代表)

FAX 番号: 082-223-5514(代表)

<http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>

《病院見学等問合せ先》

事務室総務課人事係(研修管理委員会)有馬・近藤・長谷川

e-mail : hiro-kensyu@hcho.jp

～ 交通アクセス ～

【電車】

- JR 広島駅 (山陽本線) 方面から
広島電鉄 2系統宮島線 約 12 分 紙屋町東下車
徒歩 約 7 分
- JR 横川駅 (山陽本線) 方面から
広島電鉄 7系統 約 13 分 紙屋町西下車
徒歩 約 9 分

【バス】

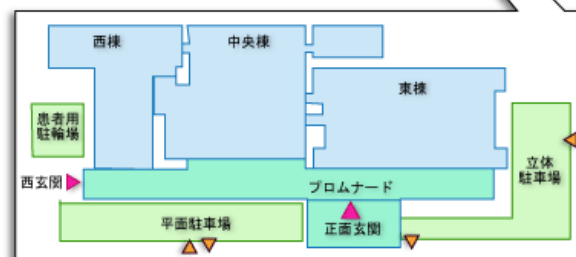
- バスセンター下車 徒歩 約 7 分

【アストラム】

- 県庁前下車 地下道より直通

【飛行機】

- 広島空港→バスセンターまでバスで約 50 分位



2020年度専攻医志望の皆様へ

広島市立広島市民病院

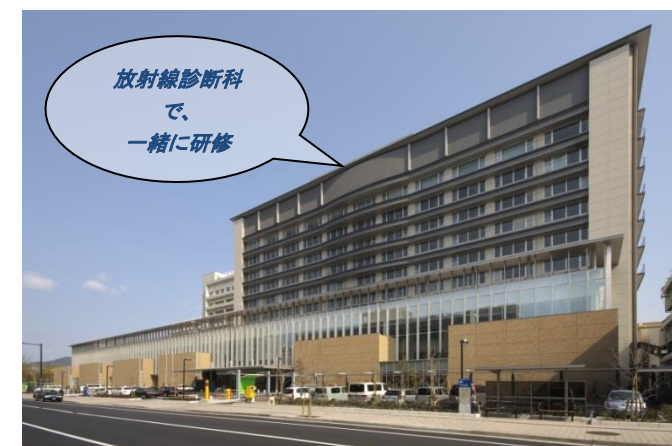
放射線診断科

のご案内

当院は、以下の基幹型専門研修プログラムの連携施設です。

専門研修プログラム名

広島放射線科専門研修プログラム



最高の仲間と、
最高の場所で、
最高の研修を！

地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立広島市民病院
Hiroshima City Hiroshima Citizens Hospital

放射線診断科へ興味のある方へ

〜スタッフ紹介〜

1. はじめに

放射線診断学は、画像診断、IVR(Interventional Radiology)の2部門から構成されています。当院の後期研修プログラムは様々な疾患の画像所見の基本的な知識の習得、IVRの基本的な技術と知識を学ぶためのプログラムです。

2. 研修目標

放射線診断学の基礎的な知識を広く学び、専門的知識と高度な技術の修得をめざします。当科は放射線科専門医総合修練機関として認定されており、放射線科専門医および放射線診断専門医の取得が具体的な目標です。

3. 研修項目

指導医は、全員、日本医学放射線学会放射線診断専門医です、日本血管造影・インターベンショナルラジオロジー学会専門医、PET 核医学認定医、マンモグラフィー読影認定医(AS 判定)があり、各々の専門的な指導を受けることができます。宿日直はありませんが、当院の規定に従い、後期研修中3ヶ月間は救急部に属して救急診療を学びます。また、放射線科で発生する画像はフィルムレスで読影環境にあります(図1)。

× 線検査

1. 単純写真・・・撮影の原理
(コントラスト、鮮鋭度、CR、画像処理)
2. 造影検査・・・上部消化管検査

CT

1. 原理と撮影技術・・・ヘリカルCT、再構成画像、
造影の適応、造影法、造影剤動態
2. 画像診断・・・頭部、頸部、胸部、
腹部骨盤の基本的な診断知識の習得

MRI

1. 原理と撮影技術・・・SE法、GRE法、EP法、
脂肪抑制法、T1緩和時間
T2緩和時間
2. 単純MRI、造影MRI、MRA、MRCP、MR hydrography
適応原理、造影法と造影剤動態、time of flight法、
phase contrast法

核医学

1. RI測定装置、RI安全取扱い
2. 核医学診断各論

IVR(Interventional radiology)

1. 血管内治療・・・適応、手技、塞栓術、塞栓物質、
血管拡張術、ステント留置術
2. 非血管系治療・・・CTガイド下生検、
CTガイド下ドレナージ
乳房吸引式生検

〜放射線診断科 スタッフ〜



主任部長 浦島 正喜(S63卒)

各科の臨床レベルが高く、おのずと要求される画像診断の質は高い。胸部、腹部骨盤はもちろん、救急画像から中枢神経、心血管系まで幅広く勉強することが可能です。来たれ、若人よ、ともに学ぼう。(前列右から2番目)

部長 田村彰久(H8卒)

当科では、患者さんの状態を思い浮かべながらモニタに向かって診断を行い画像診断報告書を作成することは勿論、患者さんと向き合って診断や治療を行うIVR(生検・止血など)も多数行っています。これと同時に検査室と連携して各種検査の適応・検査方法の決定を行い、検査そのものの質を向上させることも行っています。最適な治療を行うためには確かな診断が必要であり、放射線診断で得られる多くの情報を正しく理解し利用できるようになるために当科での経験を皆さんの研修役立てください。(前列左から2番目)

部長 谷 乃扶子(H9卒)

当院は症例が豊富で、撮像装置、読影環境も充実しています。合同カンファも多数行われており、他科との連携もとりやすく、放射線科に必要な幅広い知識を得ることができると思います。読影室には常に他科のDr.が質問やコンサルトにいられており、和気藹々とした環境です。(後列右)

部長 太刀掛俊浩(H11卒)

救急～慢性疾患、良性～悪性疾患、胎児～新生児～高齢者～Ai(死亡時画像診断)、圧倒的に幅広く、奥が深いこと。これは当院の診療科の種類が多く、各科が高い専門性を持っているからこそです。放射線科の研修場所としては最高だと思います。(前列右)

部長 谷 千尋(H14卒)

画像診断の守備範囲は、胎児～高齢者、頭部～足先までと多岐にわたります。適切な治療を行うためには正確な診断が必要であり、正確な診断を行うための手段として画像診断はなくてはならない存在となっています。日常診療の最前線で奮闘する臨床医をサポートするとてもやりがいのある仕事です。当院は各領域の症例が多く、放射線診断学に必要な幅広い経験を積むことができると思います。ぜひ、当院で研修してみませんか？(前列左)

嘱託医 松浦 明子(H9卒)

救急～慢性疾患、良性～悪性疾患、胎児～新生児～高齢者～Ai(死亡時画像診断)、圧倒的に幅広く、奥が深いこと。これは当院の診療科の種類が多く、各科が高い専門性を持っているからこそです。放射線科の研修場所としては最高だと思います。(後列左)

放射線機器

MDCT4台(256列1台、16列2台、8列1台)
MRI2台(3T、1.5T)
血管造影装置4台(うちIVR-CT1台)
RI診断装置(SPECT)2台
透視装置3台(すべてDR)
超音波診断装置1台。

読影件数

	H26	H27	H28	H29	H30
CT	12,093	16,386	18,294	20,809	24,578
MR I	5,288	4,279	4,872	5,150	4,890
核医学	1,731	1,632	1,537	1,059	696
MMG	1,562	862	393	473	606
他施設再読影	694	403	432	531	449
合 計	21,368	23,562	25,528	28,022	31,219

IVR

	H26	H27	H28	H29	H30
TAE	57	43	44	43	42
CTガイド下生検	41	40	40	49	28
CTガイド下ドレナージ	19	15	16	26	23
乳房吸引式生検	63	59	84	93	85

院内カンファレンス

肝胆膵カンファレンス 1/週

マンモトームカンファレンス 2/月

乳腺外科術後カンファレンス 1/月

小児外科カンファレンス 1/2月

産婦人科カンファレンス 1/月

詳細はHP、または見学で！！